

## 令和7年度（新羽高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

## ○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
1 法令遵守意識の向上（法令の遵守、服務規律の徹底）	法令違反、服務規律違反を行っている職員ゼロを目標とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 毎月企画会議で確認した後、職員会議等において、法令遵守、服務規律について、それに則り行動するよう指導した。</li> <li>② 相互の声かけや助け合いを習慣化し、学年・グループ等のリーダーと連携し、小さな変化を見逃さないようにした。</li> <li>③ 職員として、公務内外において、常に高い倫理感を持ち、自身の行動を律するよう指導した。</li> <li>④ 不祥事防止職員啓発・点検資料を活用して「服務規律の遵守・コンプライアンス意識の醸成」について研修を行った。</li> </ul>
2 職場のハラスメント行為の防止	ハラスメントを行っている職員ゼロを目標とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 日ごろの発言や行動に注意し、継続的に職員に注意喚起を行った。職場内のハラスメントを防止するため、風通しの良い職場環境を整備した。</li> <li>② 不祥事防止職員啓発・点検資料を活用して「ハラスメントのない職場づくりのために」について研修を行った。</li> <li>③ 不祥事防止職員啓発・点検資料を活用して「わいせつ・セクハラ行為の防止」「職場のハラスメントの防止」について研修を行った。</li> </ul>
3 生徒に対するハラスメント行為の防止	ハラスメントを行っている職員ゼロを目標とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 生徒の心を傷つけるような言動がないよう、日常の指導に細心の注意を払うように啓発を行った。また、生徒が万一セクハラを受けた時の対処法と校内の相談しやすい環境を整えた。</li> <li>② 教科準備室等の適切な利用を徹底した。</li> <li>③ 個別指導を行う際は、複数で指導に当たり、密室での指導を避ける等配慮した。</li> <li>④ 生徒とのSNS等の利用禁止を徹底し、生徒・保護者へのスマートフォン・携帯電話等による、電子メールの使用については、公務アドレスやGoogle Classroomに限定した。</li> <li>⑤ 生徒及び教職員へアンケートを実施し啓発を行った。</li> </ul>
4 体罰、不適切な指導の防止	体罰、不適切な指導を行っている職員ゼロを目標とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 生徒への対応は、複数対応を徹底し、組織的なサポート体制を構築した。</li> <li>② 生徒の問題行動に対する適切な対応について研修を行った。</li> <li>③ 職場において、相手の人権や人格を傷つける態度や発言を防止するため、互いに指摘しやすい環境を整えた。不祥事防止職員啓発・点検資料を活用して「体罰、不適切な指導の防止」についての研修を行った。</li> <li>④ 生徒及び教職員へアンケートを実施し啓発を図った。</li> </ul>

<p>5 入学者選抜、定期試験、成績処理及び、進路関係書類の作成、取扱に係る事故の防止</p>	<p>入学者選抜、定期試験、成績処理及び、進路関係書類の作成、取扱に係る事故ゼロを目標とする。</p>	<p>① マニュアル等を厳守して適切な事務処理を徹底し、職員同士の相互チェック機能を強化した。  ② 点検体制を見直し強化することで、成績処理におけるミスを防じた。適正な成績処理を行うために、通知表・調査書など書類発行までの流れを再度点検し確立した。  ③ 不祥事防止職員啓発・点検資料を活用して「定期試験・成績処理の事故防止」「入学者選抜の事故防止」についての研修を行った。</p>
<p>6 個人情報等の管理、情報セキュリティ対策に係る事故ゼロを目標とする</p>	<p>個人情報等の管理、情報セキュリティ対策に係る事故ゼロを目標とする。</p>	<p>① 日常的に様々な個人情報を扱っていることを認識し、ルールに則り適切な管理を徹底した。  ② 業務上やむを得ず個人情報を持ち出す際は、事前・事後に管理職の許可と確認を行った。  ③ スマートフォン等の番号やアドレスを取得する場合は、校長承諾の上、保護者の了解をとり、適切な管理と使用後の廃棄を確実にを行った。答案等の誤廃棄を防ぐため、試験開始時から生徒に答案を返却するまでの期間は、シュレッダー使用を禁止した。行政文書は、保存期間の目安に基づいて保存し、保存期間が終了した文書は適切に廃棄した。不祥事防止職員啓発・点検資料を活用して「個人情報の適切な取扱い、情報セキュリティ」についての研修を行った。</p>
<p>7 交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守</p>	<p>交通事故、酒酔い・酒気帯び運転、交通法規違反を行っている職員ゼロを目標とする。</p>	<p>① 交通事故に係る職員啓発資料をもとに注意喚起を図り、法規を遵守することを全職員に徹底した。  ② 日ごろから軽微な違反も起こさないよう、職員一人ひとりの意識向上を図った。  ③ 事故が起きた場合は、迅速な対応・報告を行うように指導した。  ④ 不祥事防止職員啓発・点検資料を活用して「飲酒運転の根絶」についての研修を行った。</p>
<p>8 業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）</p>	<p>教職員が情報を共有し、相互チェック体制、業務協力体制の構築を図り、円滑に業務執行することを目標とする。</p>	<p>① 日々のコミュニケーションや、グループ会議・学年会議・教科会議を通して、情報共有と、相互チェック体制・業務協力体制の構築を図った。  ② 外部への回答や文書送付等の際は、複数による点検を行い、提出期限に余裕を持って計画的に業務を遂行するとともに、起案・決裁を受けてから執行した。  ③ 事務処理に係る仕組を改善し、休暇や旅行等庶務事務システムへの入力、漏れやミスのないように、確実に速やかに入力した。</p>

<p>9 財務事務等の 適正執行</p>	<p>財務事務等に係る事故ゼロを目標とする。</p>	<p>① 全職員に私費会計基準を周知徹底し、透明性を確保し、適正な処理に努めた。</p> <p>② 私費会計担当者を対象に、会計処理が適正になされているか確認した。</p> <p>③ 不祥事防止職員啓発・点検資料を活用して「適切な私費会計の取扱い」についての研修を行った。</p> <p>④ 私費に係る財務事務調査結果について、報告し改善を図った。</p>
--------------------------	----------------------------	--

○令和7年度における不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と今後の課題（学校長意見）

令和7年度から不祥事ゼロプログラムは、3年計画に基き実践されることになった。重点課題として5項目を掲げ、企画会議にて不祥事防止会議、職員会議では不祥事防止研修会を実施し、意識の向上を図った。

また、朝の打合せ等において、教育長通知や関係資料を周知するなど、注意喚起を行うことで、事故・不祥事の未然防止にも取り組むことができた。

次年度も、不祥事ゼロプログラムの行動計画に即した会議・研修を怠ることなく行い、職員全体のコミュニケーションを重視した、風通しのよい職場環境を構築して、事故・不祥事を起こさない職場づくりに学校全体で取り組む所存である。

※参考：令和7年度に取り組むべき課題

次の5項目を重点課題として取り組む。

- (1) 職場のハラスメントの防止
- (2) 体罰、不適切な指導の防止
- (3) 定期試験、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱い、入学者選抜に係る事故防止
- (4) 個人情報等の管理、情報セキュリティ対策
- (5) 財務事務等の適正執行